

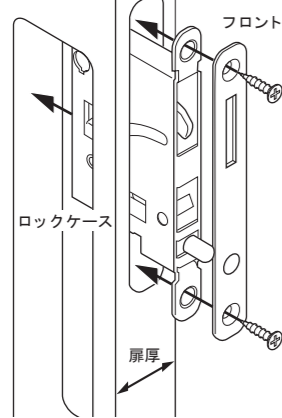
# KP-01 (表示錠用)

自動キャッチ型鍵錠のケースロックはバックセット38・51に選択可能です。  
 また、右引き・左引きにより設置前に本体の調整が必要です。対応扉厚は30~40mmです。取付前に必ず本書を読み確認してください。  
 ※室外側から見て右に引くドアを右引き、左に引くドアを左引きと設定しています。※出荷時は右引きバックセット38で設定されています。

●本説明書は取付け後も廃棄せずご使用者にお渡しください。

## 組み立て手順

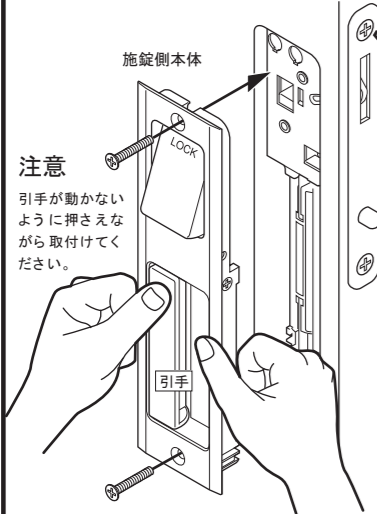
**1** ロックケースとフロントを取付けます。この時、フロントネジは仮止めにしておいてください。



**2** 表示側本体から同調ピンブロックの位置をロックケースに合わせて取付けます。



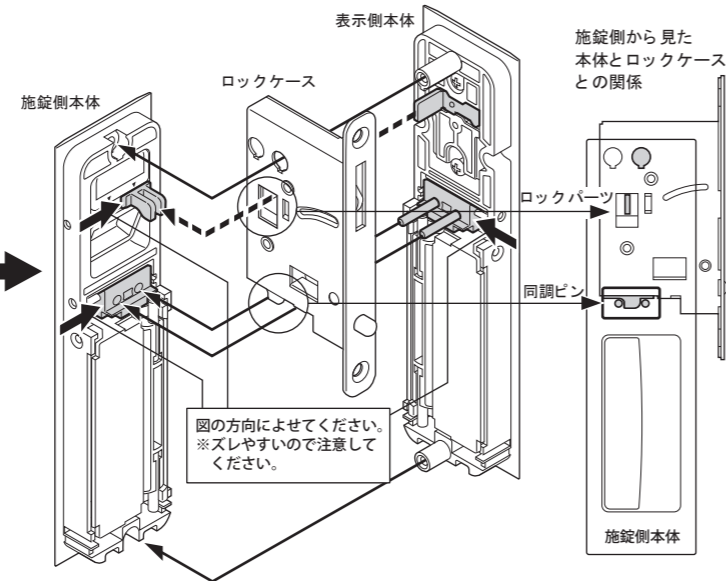
**3** 施錠側本体を取付け、ネジを止め、最後にフロントネジを引手の動きを見ながら本締めしてください。



●本体の取り付けは右引き・左引きにより設定が異なりますので各設定をご覧ください。

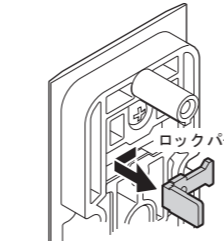
## 右引き用 の場合こちらをご覧ください。

●バックセット38の場合 ※出荷時の設定。

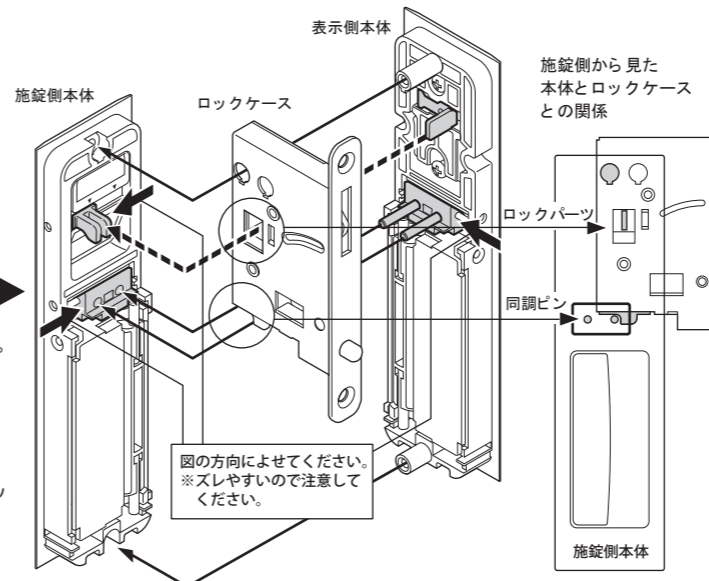
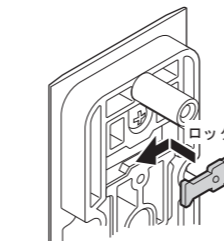


●バックセット51の場合 ※表示側のロックパーツを反対に入れ替えてから本体を組んでください。

① 右によせて外します。



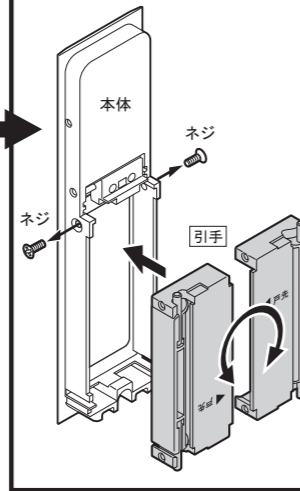
② はめてから左によせます。



## 左引き用 の場合こちらをご覧ください。

施工する前に行ってください。

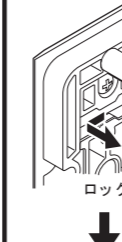
引手を左引き用に変更します。本体のネジを外して引手を取りはずし、反転してまた取付けてください。 ※両面とも行ってください。



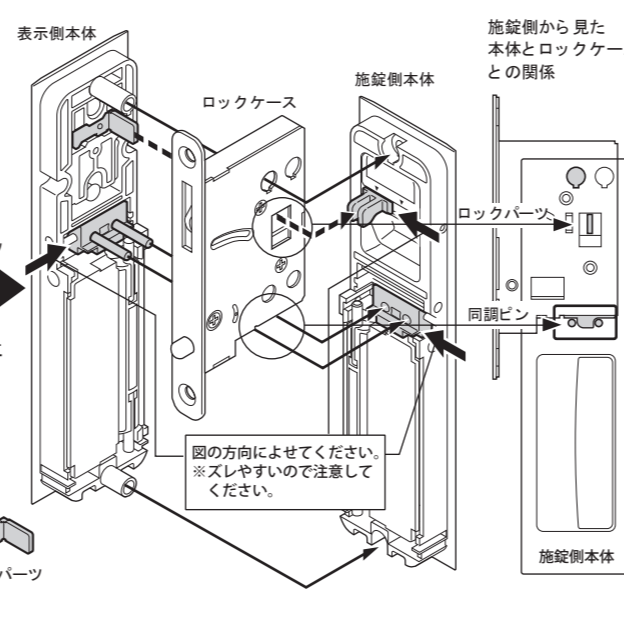
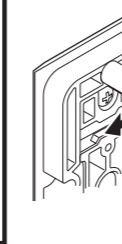
●バックセット38の場合

※表示側のロックパーツを反対に入れ替えてから本体を組んでください。

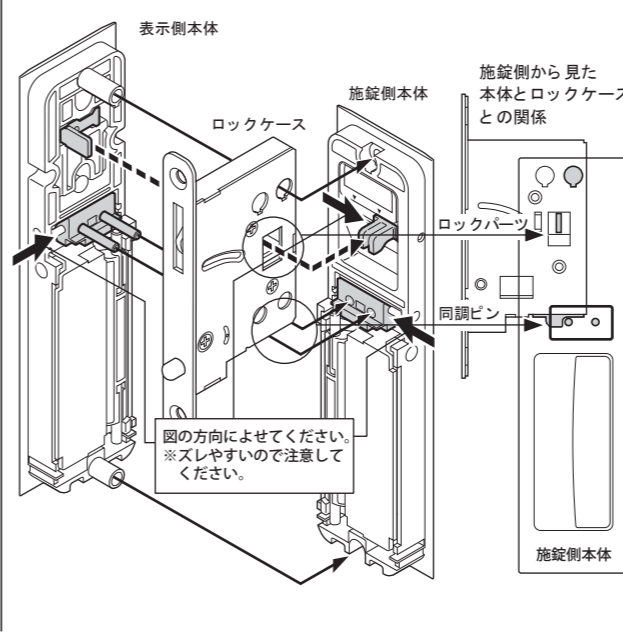
① 右によせて外します。



② はめてから左によせます。



●バックセット51の場合



### 注意

- 取扱説明書をご確認の上、正しく施工してください。施工が不完全な場合、製品のガタつき、落下等の原因となります。また取付け後、必ず動作確認をしてください。
- 屋外や浴室など水がかかたり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などが腐食して、破損や落下等の原因となります。

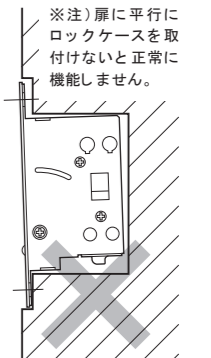
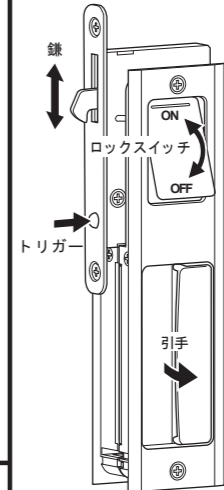
### お手入れ方法について

●メッキ仕上、塗装仕上などの商品のお手入れは乾燥した柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい時は水、又は水で薄めた中性洗剤(5~10%程度)を含んだ布で拭き、乾燥した布で水分を拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、酸やアルカリ性の洗剤、クレンザー等のご使用にならないでください。

## その他の調整・注意

### ●施錠のチェック

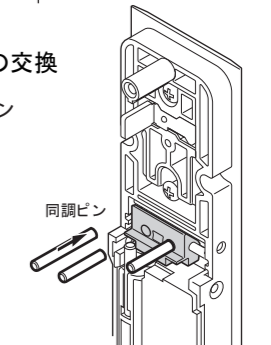
- ① トリガーを押すとカマが出ます。
- ② トリガーを押したまま引手を引くとカマが上下します。(両面とも行ってください。)
- ③ ロックスイッチをONにすると引手が固定されます。
- ④ 非常時の開錠は、ペン等を表示器の開錠穴に差し込み持ち上げることにより行えます。



### ●扉厚による同調ピンの交換

扉厚(対応扉厚)により同調ピンの交換を行ってください。

- ◎30~34mm 交換なし(初期設定)
- ◎35~40mm 付属の長いピンに交換

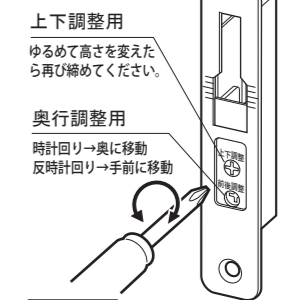


### ●ストライクの調整

(初期設定では上下調整部はいちばん下に固定されていますので裏面キリカキ図を参考にして適切な位置に調整してください。)

正しい調整の目安

- ① 扉を閉めてカマが掛かった時、戸と枠に隙間が無い状態。
- ② ロックをした状態で戸を閉めてもカマがストライクに掛からない状態。



症状	カマが掛からない	上下調整	適正へ
	扉と枠に隙間がある	奥行調整	手前へ
	ロックスイッチの動きが固い	上下調整	やや下げる
	ロックしたのに扉が開く	奥行調整	手前へ
		上下調整	上へ

